

参考資料

「琵琶湖森林づくりパートナー協定」概要

1. 協定の目的・概要

「琵琶湖森林づくり条例」の基本理念に基づき、滋賀県が推奨する琵琶湖森林づくりパートナーの趣旨・仕組みに賛同いただいた企業・団体が森林所有者と協定を結び、森林の整備の推進に参画するもの。

近畿環境保全株式会社からの森林づくり活動等にかかる費用支援により、金勝生産森林組合の所有林における植樹・下刈り等の森林整備を推進する。協定に基づく社員活動や「滋賀県森林 CO2 吸収量認証制度」の申請時のサポート等を一般社団法人栗東市観光協会が担う。

滋賀県および栗東市は、協定当事者間のコーディネート役・パイプ役として、協定に基づき実施される森林づくり活動等の支援に当たる。

※ 今回の協定の特徴

近畿環境保全(株)は、元々2009年より三雲生産森林組合(湖南市)と「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を結び、琵琶湖の水源である森林保全活動を継続的に行っている。より地域に密着した活動を推進するため、湖南市にある三雲生産森林組合との協定はグループ企業である株式会社湖南リサイクルセンターへ、草津市に本社を構える近畿環境保全(株)は、より近隣にある金勝生産森林組合と協定を締結するに至った。一般社団法人栗東市観光協会が協定者間の連絡調整、コーディネート役を担う。

※ 協定内容

協定期間 10年間

森林づくり費用(企業から提供される費用) 400万円

協定対象面積 約27ha

2. 協定を締結する団体

1. 協定を締結する団体紹介

(1) 企業

◆近畿環境保全株式会社

○所在地：滋賀県草津市青地町196番地

○事業内容：滋賀・京都・大阪など近畿各地で、廃棄物処理のニーズに対応した事業を展開。産業廃棄物収集運搬・特別管理産業廃棄物収集運搬に加え、ゼロエミッションサイクルを目指した多様なリサイクルを行っている。

○概要：ISO14001を取得し、環境に配慮した組織活動を実施。グループ企業と収集運搬した廃油からバイオディーゼル燃料(BDF)で精製し、そのうちのB5(BDF5%混合)燃料を使用する車両も一部導入してCO2量を増やさない地球にやさしいリサイクルシステムを実施している。

(2) 森林所有者

◆金勝生産森林組合

○所在地：滋賀県栗東市御園1614番地12

○所有面積：489.40ha

○概要：1904年に金勝山林保護組合として設立され、1983年に金勝生産森林組合に移行。栗東市の林業振興や森林保全の中心的な役割を担い、SGEC森林認証やJ-クレジット創出に、どちらも滋賀県内で初めて取り組むなど、森林の付加価値を高めるための数々の取り組みにチャレンジしている。

(3) 地域団体

◆一般社団法人栗東市観光協会

○所在地：滋賀県栗東市手原3丁目1-30

○概要：栗東市の観光振興を図るために必要な事業を企画・遂行し、地域経済の活性化および地域文化の振興に寄与することを目的に設立され、地域で活動する団体と連携した農業体験や伝統行事の継承のほか、栗東市の約4割を占める森林に注目し、森林空間を活用した様々なプログラム造成に取り組んでいる。